

実績報告書

助成事業細目	スポーツ活動推進事業					
	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催					
助成事業者名	公益財団法人 日本テニス協会					
事業名	全国9地域のスポーツ医・科学体制の整備および情報発信					
実施した事業の成果	<p>9地域でのスポーツ医科学体制については、その必要性について今後、確立していくことが重要であることが認識され、その方向性が示唆された。4地域については、医科学委員会が存在するが、しっかりと各ブロックごとに連携が取れていない状況であり、中央（JTA）主導での情報発信を行いながら、ネットワークづくりをさらに推進していくことが確認された。医科学体制が確立されていない地域については、来年度よりネットワークをまず作り、動きだしていく方向性も確認できた。今回、ジュニア選手の育成、強化、そしてタレント発掘なども含めて、JTAからの育成プログラム策定の必要性も示唆され、今後の活動の方向性も視野に入れながら、一貫指導を推進していくことの重要性が確認された。</p>					
実施した事業に対する評価	<p>ジュニア選手に対してケガをさせないコンディショニングづくりということでのテーマであったことより、セミナーの内容的にも講義と実践形式での伝達であることで、体力向上の必要性とその方向性については、ある程度評価はできた。これらのことを、今後指導者が推進していくことで、十分に競技力向上には貢献できるものと思われる。また、医科学体制を各ブロックごとに整備していくことの情報交換をおこなったことより、測定やトレーニングなどその環境が整えられていくものと推察される。</p>					
	〔団体としての数値目標〕	〔数値目標に対する結果〕				
事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	<input checked="" type="checkbox"/> 実施結果をホームページで公開 <input checked="" type="checkbox"/> 実施結果を広報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか	〔実施事業の内容〕					
	開催期間・開催日	平成26年11月～平成27年3月				
	主催者	公益財団法人 日本テニス協会医・科学委員会				
	開催場所	9地域のセミナー会場				
	事業の内容	テニス医科学セミナーとして講習会を開催。《ケガをしない身体づくりを目指して -医科学体制の確立を考える-》 コンディショニングづくり、アンチドーピング、ジュニアの育成（体力向上策）、地域の医科学体制に関するパネルディスカッションなどの内容を行った。				
	開催期間内の事業（大会・教室等）の実施回数	9	回			
	平均参加人数	30	人	総参加人数	270	人
	（うち女性参加人数）	10	人	女性参加割合	33.33	%
	（うち障がい者参加人数）	2	人	障がい者参加割合	6.67	%
	スポーツボランティアの平均参加人数	5	人	スポーツボランティアの割合	16.67	%
	世代別参加者	<input checked="" type="checkbox"/> ~19歳 <input checked="" type="checkbox"/> 20～39歳 <input checked="" type="checkbox"/> 40～59歳 <input checked="" type="checkbox"/> 60歳～				
	インターネット上に事業内容を広報・PRのための告知ページを作成する	<input type="checkbox"/> 助成事業用のHPを作成した <input type="checkbox"/> 助成事業者のHPに告知ページを設け <input checked="" type="checkbox"/> インターネット上での告知は行わなかった				
	緊急体制	<input checked="" type="checkbox"/> 医師が待機 <input type="checkbox"/> 看護師が待機 会場にAEDを設置 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法				
備考						